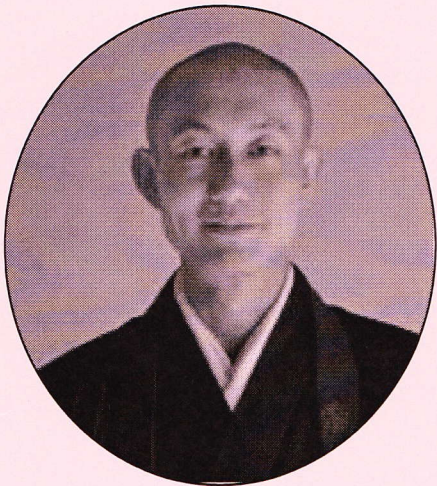


2011. 3. 11 のレクイエム .....

～福島から日本の豊かさと平和の未来に思いを馳せる～

講演

# ～私と家族と南相馬から～



と き：平成 24 年 10 月 28 日（日）

午後 1 時 30 分～3 時 30 分

ところ：尼崎市立小田公民館 1 階多目的ホール

（尼崎市潮江 1-11-1-101 ☎06-6495-3181）

講 師：福島県南相馬市同慶寺住職 田中徳雲氏

申 込：10 月 4 日（木）より 中央公民館 06-6482-1750 △

Eメール：ama-chuokominkan@city.amagasaki.hyogo.jp

先着 180 人

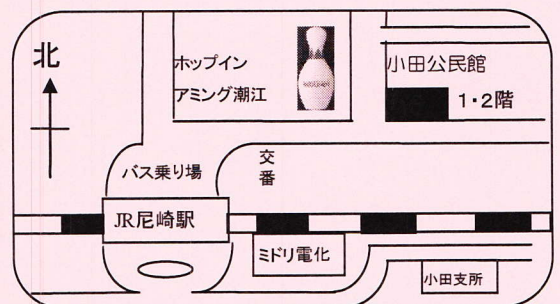
その他：託児保育あり（1 歳から 要事前申し込み）

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災とこれに続く福島原発事故は、日本のみならず世界中を震撼させることになりました。かつて資源と領土という豊かさを求めて戦争への道に進んだ日本と、経済的な豊かさを人の豊かさとして、まい進してきた戦後の日本の間に相似形を見出す人も多いと思います。

今回は、南相馬市の同慶寺で被災され家族と離れ福島で活動中の田中徳雲師のお話から、平和、日本の豊かさの有り様について考えます。

## 田中徳雲さんのプロフィール

1974 年生まれ、福島第 1 原発から 17km の距離にある同慶寺の第 51 代住職。特別に許可を得て檀家の人々とともに警戒区域内にある草木の生えた同寺の清掃をしたエピソードは有名。以前より、平和運動にも熱心に取り組む。被災直後の福島の状態や現在の状況、福島の人々の心の機微を語れる人である。現在 4 児の父。食の大切さを感じ帰農。半農半僧、なるべくモノを持たない生き方を目標に奮闘中。好きな言葉は、「グローバルに考え、ローカルに行動し、大地は一步一步踏みしめて歩くこと。」「あきらめない」



小田公民館略図

主 催 尼崎市立中央公民館  
06-6482-1750